

An aerial photograph of a suburban area. In the center, there is a cluster of industrial or commercial buildings with large, flat roofs. Surrounding these buildings are residential neighborhoods with smaller houses and trees. A road or highway runs through the area, and there are patches of open land and fields. The overall scene depicts a typical suburban landscape.

中勢北部サイエンスシティへの 新たな企業の進出について

平成26年1月17日

新たに進出した企業

立地協定締結日	平成26年1月21日
名 称	三重ヤクルト販売株式会社 代表取締役 西山 直樹 本社所在地 三重県鈴鹿市
業 種	飲食料品等の販売
概 要	昭和33年4月設立 資本金 5,000万円 年間売上高 約24億7千万円(H25.3) 従業員数 85名(H25.11現在)

進出計画の概要

進出内容

**中勢北部サイエンスシティ内に
本社事務所等の新設**

進出場所

A-2区画 4,989.39m²

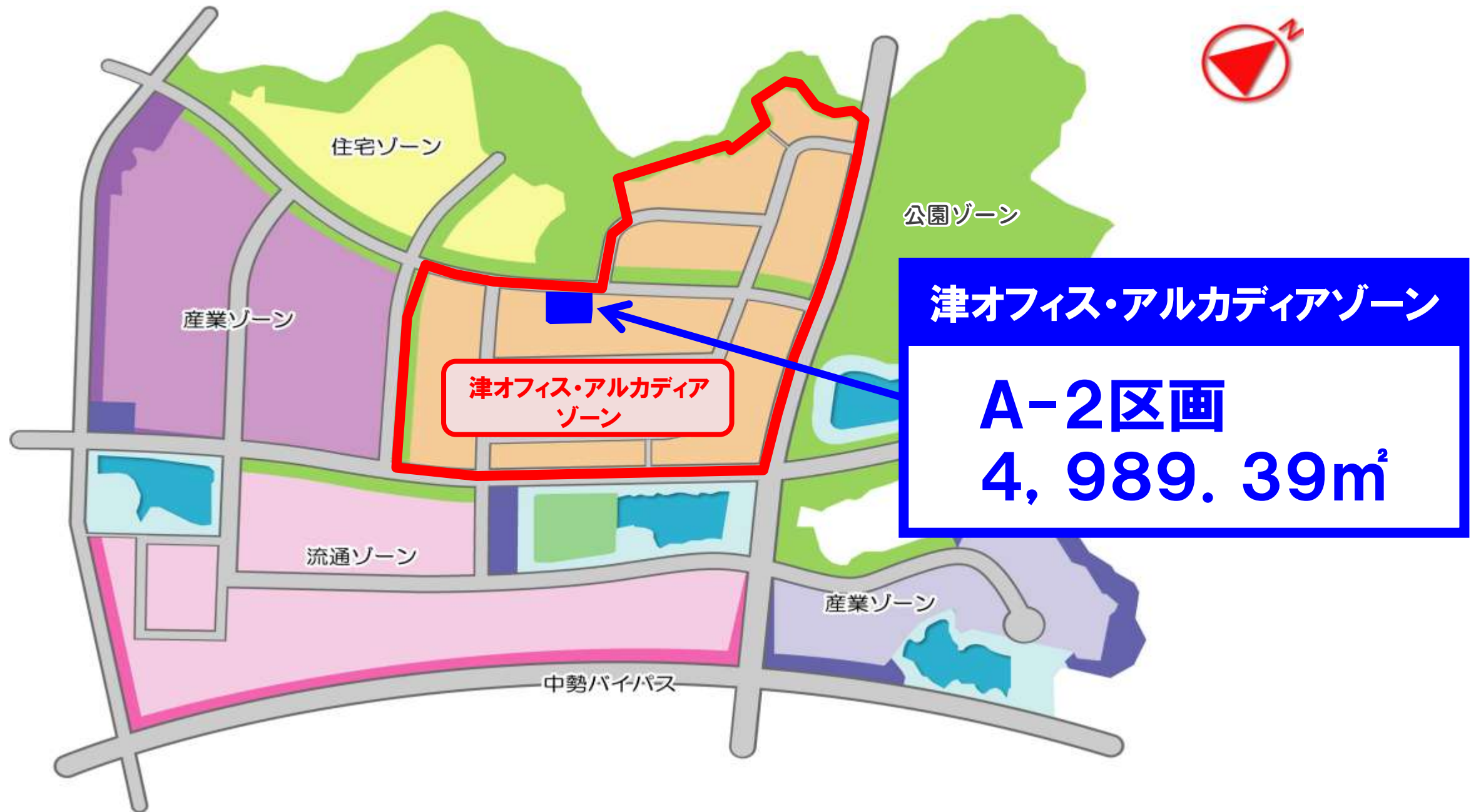
津市あのかつ台四丁目6-2

**津オフィス・アルカディア区域(独立行政
法人中小企業基盤整備機構が造成)**

操業開始

平成26年11月(予定)

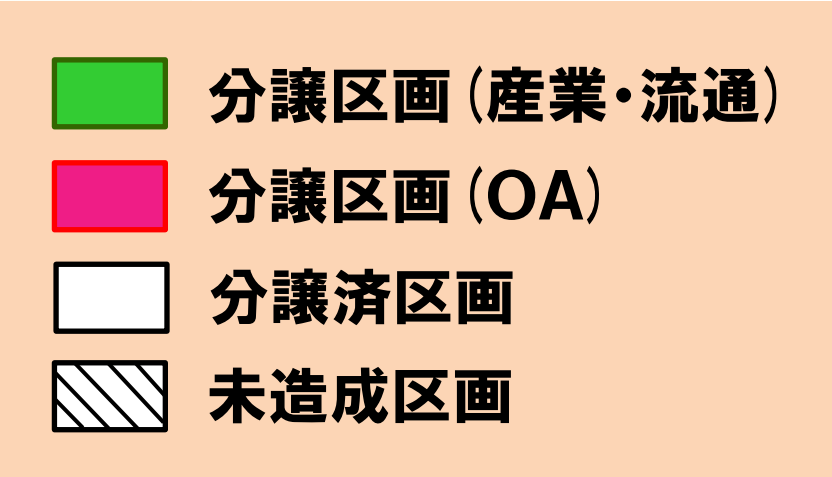
進出決定企業の進出場所



中勢北部サイエンスシティの進出状況



総面積	165ha
計画分譲面積	84.1ha
造成済面積	79.9ha
分譲・賃貸済面積	57.1ha
造成済区画数	103区画
分譲・賃貸済区画数	83区画
分譲・賃貸率	71.4%
進出企業数	55社



クラブ活動で学生生活を謳歌し仲間と成長する

三重短期大学クラブハウスの 建て替えについて



平成26年1月17日

クラブハウス建て替えの概要

施設の老朽化対応

- ▶ 既存施設(昭和47年度・昭和48年度建築)の深刻な老朽化
- ▶ 学生からの施設改善に関する要望が増加

学生交流の場づくり

- クラブ数** 26団体／延べ約500名
(体育系:11団体、文化系:15団体)
- 期待される効果** クラブ間の交流拡大による活動の活発化、学生のコミュニケーション能力等の向上

津波避難ビルへのアクセス経路の確保

敷地北側に出入口を設置し、津波避難ビルとして指定する校舎棟へのアクセス経路を短縮

施設概要

- 1階平屋建て
200m²程度
- ▶ クラブ室
12m²×12室
- ▶ フリースペース
24m²×2室

総事業費

約7,700万円
平成26年度
当初予算案に計上

平成26年度
地域の元気臨時交付金
(地域活性化・雇用創出
臨時交付金)を活用

施設の老朽化

施設の老朽化の現状

既存施設(昭和47年度・48年度建築)の深刻な老朽化

- ▶ ひび割れが多数発生し、強度不足と雨漏りが問題化
- ▶ 設備(扉・電気配線等)の損耗が顕著



屋根・壁に発生したクラック

学生の声

- ▶ 雨漏りのため資材を保管できない
- ▶ 施錠・照明等の設備が不十分

安全確保

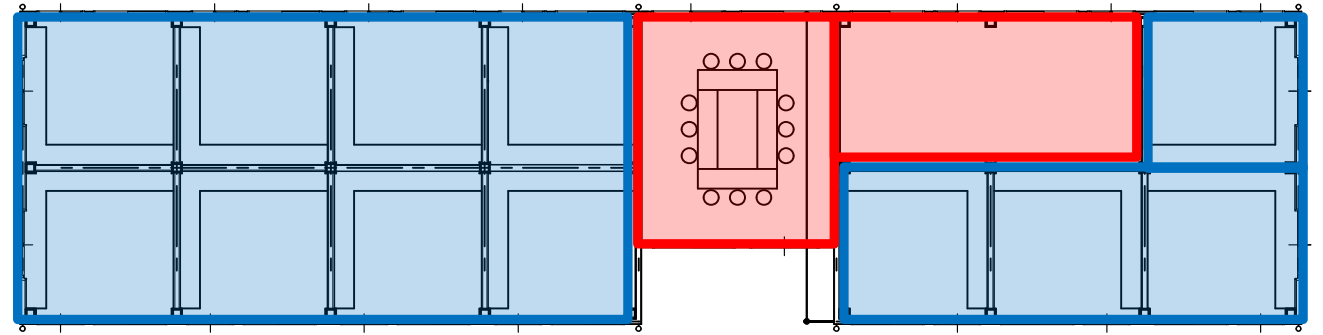
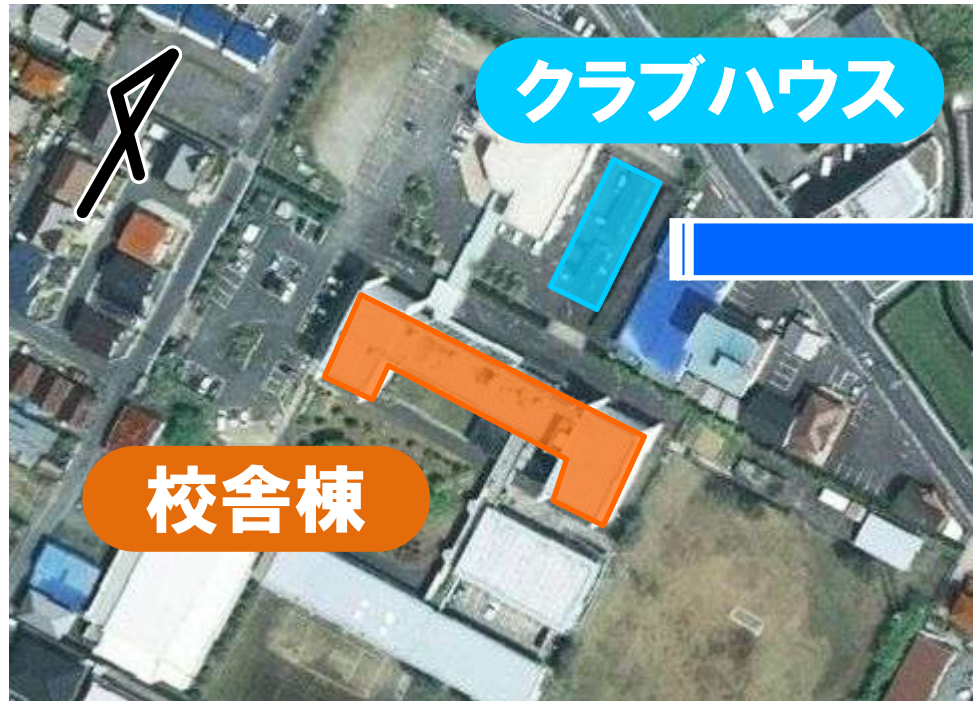
耐震強度不足

※夜間も学生が利用しており、対応が急務



現在のクラブハウス

新たなクラブハウス



■ クラブ専用部室: 12室
■ フリースペース: 2室

従来のクラブ専用部室に加え、新たにフリースペースを2室新設

▶▶▶ 平成26年8月初旬(前期講義終了後)に着手し、年度内に完成予定

- ▶ クラブ間での交流の場として活用
- ▶ 運用方法はクラブ間で協議

複数クラブによる協力活動の
活発化やコミュニケーション能力・
マネジメント能力の向上に期待

津波避難ビルへのアクセス経路の確保

津波避難ビルとしての課題

- ▶ 交通量の多い道路に出入口が面していない
- ▶ 正門前の道路は標高が低く、幅員が狭い

地域からの改善要望

平成25年7月22日開催の市政懇談会で一身田地区自治会連合会・一身田地区社会福祉協議会から「北側に出入口があると避難しやすい」との要望

❗ スピーディーに答えを出します

クラブハウス建替工事用車両の出入口を活用し、北側道路面に新たな出入口を整備

津波避難ビルに指定する校舎棟へのアクセス経路を短縮

